

ガボン共和国月報（2016年1月）

2016年1月号
在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領による国民向け年頭演説
- ジャン・ピン元AUC委員長の野党統一候補任命
- メディアと平和に係るハイレベル会合の開催

【外政】

- 仏首相による2009年大統領選挙に係る発言
- ボンゴ大統領による世界経済フォーラム年次総会出席
- 中国商務部副部長による当地訪問
- ボンゴ大統領による第26回AU総会出席

【経済】

- オウエンド港の鉄道・港湾建設に係る借款協定署名
- オラム社によるゴム・プランテーション及びゴム加工工場支援
- コファス社による信用格付け：ガボンC

【内政】

1 ボンゴ大統領による国民向け年頭演説

新年にあたり、アリ・ボンゴ大統領は、恒例の国民向け年頭演説の中で、大統領就任から6年間の成果を評価するとともに、課題解決に向け、現在進行中の行政・経済・社会改革に引き続き邁進する強い意志を示した。また、本年の大統領選挙の実施に向け、国民に協力を呼びかけた。（2日付UN）

2 ジャン・ピン元AUC委員長の野党統一候補任命

15日、野党連合「野党統一戦線（FOPA）」メンバー16名の賛成を得て、ジャン・ピン元AUC委員長は、次期大統領選挙におけるFOPA統一候補として選出された。（18日付UN, 19日付GR, 16日付AFP）

3 大統領選挙及び国民議会選挙に向けた選挙リストの見直し

18日、大統領選挙及び国民議会選挙の実施に向け、ムベレ・ブベヤ内務・地方分権・安全・公共衛生大臣は、選挙リストの改訂作業の実施を発表した。右改訂作業は、3月2日まで実施される予定。（18日付UN, 18日付AFP）

4 PSD副党首によるジャン・ピン元AUC委員長支持

16日、ムーレンギ・ブコソ社会民主党（PSD）副党首は、PSD脱退を決定し、ジャン・ピン元AUC委員長の支持を表明した。（19日付UN, 18日付GR）

5 司教団による大統領選挙に係る要請

17日、司教団会合において、社会的・政治的安定に向け、自由かつ公正で、透明性のあ

る大統領選挙及び国民議会選挙の実施が要請された。(20日付UN)

6 憲法裁判所長官による政党への要請

21日、憲法裁判所長官は、新年の開廷式において、各政党内の対立に触れ、本年の大統領選挙及び国民議会選挙が憲法秩序に則った形で実施されるよう、政党関係者に対して必要な措置を講じるよう求めた。(22日付UN)

7 メディアと平和に係るハイレベル会合の開催

25日、リーブルビルにおいて、国連訓練調査研究所(UNITAR)主催によるメディアと平和に係るハイレベル会合が開催され、平和定着及び紛争予防プロセスにおけるメディアの役割について議論が行われた。(26日付UN, 26日付GR)

8 親ジャン・ピン派及び反ジャン・ピン派によるFOPA内対立

ジャン・ピン元AUC委員長の統一候補選出に係るコンビラFOPA議長及び一部FOPAメンバーによる反対を受けて、親ジャン・ピン派のFOPAメンバー15名は、新たに執行部会の設立を決定した。(27日付UN, 27日付GR)

9 PGP党首によるジャン・ピン元AUC委員長支持表明

28日、ンザンバ・ガボン進歩党(PGP)党首は、ジャン・ピン元AUC委員長の支持を表明した。(29日付UN)

【外政】

1 仏首相による2009年大統領選挙に係る発言

16日、マニュエル・ヴァルス仏首相は、仏テレビ番組にて、質問に答える形で「アリ・ボンゴ大統領は、期待されたようには選ばれなかった(Ali Bongo Ondimba n'aurait pas été élu comme on l'entend)」旨述べ、2009年の大統領選挙における同大統領の当選事実を疑問視するかのごとき発言を行った。右発言は二国間関係を悪化させるとして、ガボン政府は、在仏ガボン大使の本国への召還を決定し、18日、在仏ガボン大使は、仏首相府にて、首相府外交顧問及び首相府アフリカ問題担当顧問と会談し、首相の発言について説明を求めた。(18日付AFP, 18日, 19日付UN, 19日付GR)

2 ボンゴ大統領による世界経済フォーラム年次総会出席

22日、アリ・ボンゴ大統領は、第46回世界経済フォーラム年次総会(於:ダボス)に出席し、ヴァルス仏首相と会談したほか、政経界の指導者と会談を行った。(23日付UN)

3 中国商務部副部長による当地訪問

28日、Qian Keming 中国商務部副部長は、当地を訪問し、アリ・ボンゴ大統領と会談し、農業、医療、教育、貿易、インフラ分野等における二国間協力関係の強化に向けた意見交換を行った。中国側からは、5,000万元の支援、中国の支援によって建設された小学校2校への備品供与等が発表された。(29日付UN)

4 第4回ガボン・中国合同委員会の開催

28日、中国商務部副部長及びイモンゴ・タタガニ持続可能な経済開発・投資促進・計画大臣は、第4回ガボン・中国合同委員会を開催し、二国間貿易の促進、木材加工分野にお

ける投資の加速化，地方農業振興政策「GRAINE」の具体化等について意見交換を行った。（29日付UN）

5 ボンゴ大統領による第26回AU総会出席

30-31日，アリ・ボンゴ大統領は，第26回AU総会（於：アディスアベバ）に出席し，右総会のマージンにおいて，ズマ南ア大統領，ケイタ・マリ大統領，アフリカ開発銀行総裁等と会談を行った。（31日付UN）

【経済】

1 SEMによる2015年の金探掘量の発表

ガボン赤道鉱物会社（SEM）は，2015年，55キロの金を探掘した旨発表した。昨年，同社は，中国 Myanning 社との間で，オグエ・イビンド州の金探掘事業の提携に合意している。（6日付UN）

2 SOGARAによる2015年の石油精製量の発表

ガボン石油精製公社（SOGARA）は，2015年の石油精製量が前年の83万トンから，90万トンに増加した旨発表した。（6日付UN，7日付GR）

3 オウエンド港の鉄道・港湾建設に係る借款協定署名

8日，中部アフリカ諸国開発銀行（BDEAC），BGF I 銀行及びオラムの子会社であるGSEZ社は，オウエンド港の鉄道・港湾建設費用に係る516億CFAフランの借款協定に署名した。右計画により，25ヘクタールの鉱物積載用ターミナル及び20ヘクタールの航路が建設される。（11日付UN，11日付GR）

4 IMF政策勧告：CEMAC諸国

IMFは，昨今の油価低迷を受けて，中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）諸国に対し，経済の多様化，地域統合を促進するよう要請した。また，経済の安定化及び経済成長資源の確保に向けた構造調整政策が必要である旨勧告した。（11日付UN）

5 農業開発：技術・財政パートナー会合の開催

17日，ンブンバ・ンゼンギ農業・農業団体大臣（GRAINE 政策担当）及びチャンゴ漁業・畜産大臣は，世銀，国際連合食糧農業機関（FAO），中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS/CEEAC）と共催で，技術・財政パートナー会合を開催した。同会合において，農業分野の優先的な計画が紹介され，アフリカ開発銀行及び国際農業開発基金は，2,000億CFAフランの農業プロジェクト支援を発表した。（11日付UN）

6 ガボン・世銀協力関係

14日，ガボン政府及び世銀は，ガボン郊外におけるインフラ開発計画への支援策として総額800億CFAフランの借款協定2件に署名した。右協定により，9県の公共インフラサービスへのアクセス改善が図られ，村落管理のキャパシティー強化の向上が期待される。（15日付UN，15日付GR）

7 オラム社によるゴム・プランテーション及びゴム加工工場支援

オラム社は，ビタムのゴム・プランテーション及びゴム加工工場計画に対し，915億C

FAフランの官民連携支援を決定した。右計画により、ガボン経済の多様化が図られ、2020年には、ゴム生産大国になることが期待される。(15日付UN, 15日付GR)

8 ボンゴ大統領によるミンケベ国立公園視察

19日、アリ・ボンゴ大統領は、Woleu-Ntem 県のミンケベ国立公園を視察し、密猟、自然資源の不当搾取が問題となっている現場を調査し、現場隊員を激励した。(20日付UN)

9 コファス社による信用格付け：ガボンC

仏コファス社は、油価下落によるガボンの財政減退リスクに触れ、信用格付けをBからCに格下げした。(27日付GR)

10 伝統工芸村の建設及び観光業の促進

28日、中国商務部副部長は、ベー商業・中小企業・手工業・観光・サービス業開発大臣と会談し、伝統工芸村の建設、貿易協定の改訂、観光業の促進、社会起業の促進及びサービス業の促進等について意見交換を行った。(29日付UN)

出典：PR(大統領府公式HP), UN(ユニオン紙), GM(ガボン・マタン紙), GN(ガボン・ニュース電子版ニュース), AFP, GA(Gabonactu.com), GR(ガボン・レビュー電子版ニュース), LG(ル・ガボン電子版ニュース), GE(ガボン・エコ電子版ニュース), AFP(フランス通信社)